

昭和54年(1979)に一度東京の日本青年会館ホールで自分の
作曲した映画音楽をジャンルごとに分けて自作自演(※81)の
コンサートをしていました。映像抜きでも音楽が一人歩きで
できることを示したかったからです。できればこのコンサート
を続けていきたいと考えていました。

随分前から留萌の若い仲間が佐藤勝のコンサートを地元で
開催したいと勝の元に機会あるごとに足を運んで、コンサー
トの実現を模索(※82)していました。

※81 自作自演

創作した作品を自らの手で演じること。

※82 模索

手さぐりで探すこと。

そんな中、昭和 61 年(1986) 8 月 19 日、故郷留萌ふるさとでのコンサートが実現じつげんしました。最初は留萌市文化センターのこけら落さいしよとし(※83)にやりたいということでした。

しかし、東京からオーケストラを連れてくるのには費用ひようが掛かかりすぎる。何とか実現じつげんできる方法ほうほうはないかと知恵ちえを絞しぼっていました。

※83 こけら落とし

たげきじょう はじもよお
新たに建てられた劇場で初めて行われる催しのことである。

佐藤 勝 映画音楽コンサート

●指揮 佐藤 勝 ●演奏 札幌交響楽団

若者たち
君のゆく道は
はてしなく遠い
たのになぜ
胸をくいしばり
君はゆくのか
そんなにしてまで
君のあのひとは
今はもういない
たのになぜ
なにを探して
君はゆくのか
あてもないのに
君のゆく道は
希望へとつづく
空にまた
陽が昇るとき
若者はまた
歩きはじめる

昭和61年8月19日(火) PM6:00 開場

留萌市文化センター

主催 社団法人 留萌青年会議所

協賛 佐藤 勝コンサートを成功させる会

留萌市民劇場・留萌市文化団体協議会
留萌市民吹奏楽団・留萌混声合唱団
女声合唱団コールシェン・留萌映画ファンクラブ
ヘリンボーン・留萌ライオンズクラブ
留萌みなとライオンズクラブ・留萌ロータリークラブ
広瀬ソロボチミスト園芸

留萌での^{さいしょ}最初のコンサートのポスター

そして、やっとその日が来ました。「グランDEM86 佐

藤勝^{とうまさる えいが}映画音楽^{せいねん かいぎしよ しゆさい}コンサート」が留萌青年会議所主催で開かれた

のです。札幌交響楽団^{さつぽろこうきょうがくだん}の三管編成^{さんかんへんせい} (※84)に東京から四リズム

加えた特別編成^{くわ とくべつへんせい}の「佐藤勝とその楽団^{さとうまさる がくだん}」に勝は興奮^{まさる こうふん}を隠^{かく}せま

せんでした。

第一部は佐藤勝^{さとうまさる}作品集。『皇帝のいない八月^{こうてい}』からスター

トし、『キタキツネ物語』、『遙かな山の呼び声^{はる よ}』、『北の螢^{ほたる}』

と続^{つづ}く。

第二部は佐藤勝^{さとうまさる}編曲^{へんきよく}による外国映画音楽。『セビリアの

理髪師序曲^{りはつし じょきよく}』、『ボレロ』、『第三の男』、『戦場^{せんじょう}にかける

橋』、『シェーン』と続^{つづ}いた。

※84 三管編成^{さんかんへんせい}

オーケストラは、音楽の一種である管弦楽^{いっしゆ かんげん}、または、管弦楽曲^{かんげん えんそう}を演奏^{もくてき へんせい}する目的で編成された楽団^{がくだん}を指す。

まんいん 会場から一曲終わるごとに割れんばかりの拍手がわ
わ なくしゅ
き上がる。最後のアンコールで勝は最前列の女生徒に「歌う
さいご まさる さいぜんれつ じょ せいと
かい」と聞くと、「うん」とうなずいた。『若者たち』の演奏
わかもの えんそう
が始まると、静かに「きみの一ゆく、みちは一」と全員の大合唱
しず だいがっしょう
となりました。

まさる せなか ふるさと そう
勝は背中に故郷留萌を感じ、人生のいろいろな出来事が走
まとう のうり
馬燈(※85)のように脳裏(※86)をかけていくのを感じていまし
た。

昭和 63 年(1988)には留萌市海のふるさと館の映像展示『海
えいぞう てんじ
も たんとう ふるさと まさる
燃えて～留萌みなと物語～』の音楽を担当し、故郷に勝メロ
のこ
ディーを残してくれました。

そうまとう
※85 走馬燈

きおく か めぐ
思い出や記憶が頭の中を駆け巡るようによみがえること。

のうり
※86 脳裏

頭の中。

1992

留萌市教育委員会自主文化事業

Music in Rumoi

佐藤勝の音楽

•指揮 佐藤 勝 •演奏 札幌交響楽団

Music in Rumoi 留萌で生まれた音が
今、シンフォニックに留萌に響く!!



ゲスト (客) 佐藤千恵子

•10月1日(木) 開演19:00 閉演19:30 •留萌市文化センター

主催：留萌市／留萌市教育委員会

後援：NHK／北海道新聞社／留萌新聞社
留萌日日新聞社／留萌市文化団体協議会

留萌での二度目のコンサートのポスター

平成4年(1992)10月1日に留萌市の主催で、留萌市開基百
十五年記念「ミュージックインルモイ 佐藤勝の音楽」と
題して昼夜2回にわけて映画音楽コンサートを開催しました。
演奏はやはり札幌交響楽団で『あゝ野麦峠』や『敦煌』の一
部、『陽暉楼』を演奏会用に書き直したものと、故郷のため
に作った『北の序曲』を三管編成に書き直したものを演奏し
ました。

また、故郷に対して長年貢献したことから「留萌市功労賞」
を受賞しました。



コンサートに先立って行われた講演会